

「信教の自由」を侵害する コロナ対策新法に反対する 宗教者緊急声明 記者会見

2020. 3. 13

於：参議院議員会館B107会議室

プログラム

午後2時開始

1. 司会・進行挨拶 渡辺多嘉子さん (キリスト者ネット)
1. 主催者挨拶・緊急声明発表 金性済さん (NCC総幹事)
1. 呼びかけ人の発言
清水靖子さん(ベリス・メルセス宣教修道女会)、
武田隆雄さん
(日本山妙法寺僧侶) 他
1. 質疑応答
1. 主催者閉会挨拶

午後3時終了

「信教の自由」を侵害する新型コロナウイルス対策のための特措法改正に反対する 宗教者緊急声明

私たちは、日本国憲法第9条を守りつつ、あらゆる戦争を許さない平和をつくりだすことを願い求め、共に祈り合う宗教者です。

今、世界を揺るがす事態となった新型コロナ・ウイルス問題をめぐり、安倍晋三首相は、去る3月5日、「緊急事態宣言」発動を念頭に入れた「新型インフルエンザ等対策特別措置法」改定の準備について言明し、10日の閣議で国会上程が決定され、本日(3月13日)の国会で制定させようとしています。国会審議においては、すでに1月28日より、新型コロナ問題に関連して、緊急事態条項をもつ憲法の改定が一部国会議員たちによって言及されてきました。

かねてより自民党・与党によって提唱されてきた憲法改定案の一項目である「緊急事態宣言」は、重大な問題をはらんでいることが指摘されてきました。総理大臣を中心とする内閣が国家の緊急事態を宣言することにより、行政が立法権をも独占してしまうならば、それは憲法秩序を停止してしまい、重大な人権侵害と立憲民主主義の秩序を破壊してしまう恐れがあることを、戦時下の日本やナチス・ドイツの歴史的経験から私たちは知っているのです。

この度の新型コロナ・ウイルスの感染拡大事態について、安倍政権が既存の法制度のもとに、迅速かつ周到な対応を怠ってしまったことを省みず、いきなり「緊急事態宣言」の手段を選択しようとする企ては、新型コロナ・ウイルス問題を奇貨としながら、憲法改定の意図まで含み持つ本末転倒的な対応というほかありません。

私たちがとりわけ憂慮することは、もしも「緊急事態宣言」が総理大臣によって発動されれば、事前の慎重な専門家協議や社会的説明もないまま、あるいは公表されることなく密室で強力な権限行使がなされることをゆるし、都道府県知事に市民社会生活の広範囲にわたる行動を規制する権限が与えられ、自粛要請によって市民の外出が制限され(移動の自由を保障する憲法22条違反)、社会・教育施設などの使用が制限されることが考えられます。さらにそこから、憲法の保障する表現の自由や集会の自由さえ制約されることを憂慮します。それはまた、宗教者が状況を慎重に見極めつつも、自主的に判断し、宗教活動を営むことさえ制約されることにつながり、「信教の自由」を侵害するものとなりえます。

安倍政権は、1月末の段階において感染症法や検疫法の下でなしうる対応が後手に回り、さらにクルーズ船(ダイヤモンド・プリンセス号)乗船者に対する対処や下船後の対応についても、適切な政策を打ち出せず、結果的に感染拡大を引き起こす失策を繰り返してきました。

このような失敗を省みず、安倍首相は3月2日、参議院予算委員会にて「新型インフルエンザ等対策特別措置法と同等の措置を講ずることが可能となる立法措置を早急に進める」と発言しました。感染問題をめぐり、安倍首相は2月27日に、専門家会議での協議や関係省庁との慎重な検討も踏まえることなく、科学的根拠もないまま、全国一斉休校「要請」措置を突然出すことにより、社会に大きな混乱をもたらしました。このような安倍政権がさらに緊急事態を宣言することに、私たちは大きな脅威と危険を覚えずにおれません。

さらに、去る3月1日の「3.1 独立運動」記念式典の演説において、韓国の文在寅大統領は、日本政府に「共に危機を克服しよう」と呼び掛けたにもかかわらず、その4日後、中国と韓国からの入国を、何の外交的協議や専門家協議もなく一方的に制限する措置を発表しました。安倍政権によるこのような非情・非礼なる措置は、悪化した日韓関係の改善に向けた配慮など一顧だにしない傲慢で排外的な対応というほかありません。

私たち宗教者は、日本も世界のどの国もが協力し合い、一日も早く新型コロナ・ウイルスの感染による災いを、互いの友愛と英知と希望をもって克服していく日を迎えることを心から祈願します。

そして、この人類的危機に際して、むしろ立憲民主主義の秩序を揺るがし、「緊急事態」の名を借りた権力の集中と、人権蹂躪的統制へ道を開くことに対して断固反対します。

2020年3月13日

賛同者

荒川庸生
石川勇吉
小武正教
小野文瑠
加藤 俊生
武田隆雄
中嶋 哲演
野田尚道
宮城泰年
山崎龍明
松浦悟郎
浜口末男
勝谷太治
白浜 満
山野内倫昭
大倉一美
光延一郎
イグナシオ・マルティネス
石橋秀雄
中田義直
上原榮正
金柄鎬
柴田智悦
藤谷佐斗子
飯田瑞穂
秋山眞兄
平良愛香
金性濟

日本宗教者平和協議会 代表理事
愛知宗教者平和の会代表 世話人
念仏者九条の会 共同代表
群馬諸宗教者の集い 代表
真言宗豊山派石手寺 住職
日本山妙法寺 僧侶
真言宗御室派明通寺 住職
曹洞宗 僧侶
本山修験宗 管長
浄土真宗本願寺派 僧侶
日本カトリック難民移住移動者委員会委員長 司教
カトリック大分教区 教区長 司教
日本カトリック正義と平和協議会会長 司教
カトリック広島教区 教区長 司教
カトリックさいたま教区 教区長 司教
カトリック東京教区 司祭
日本カトリック正義と平和協議会秘書 司祭
カトリック中央協議会社会福音化推進部部长 司祭
日本基督教団 総会議長
日本バプテスト連盟 常務理事
日本聖公会正義と平和委員会 委員長
在日大韓基督教会 総幹事
日本同盟基督教団「教会と国家」委員会 委員長
日本YWCA 会長
日本キリスト教婦人矯風会 理事長
富坂キリスト教センター 運営委員長
平和を実現するキリスト者ネット 事務局長
日本キリスト教協議会 総幹事

| | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 秋葉正二 | 大久保正禎 | 川野安子 | 佐藤江美 | 立澤恵美子 | 榛木恵子 | 宮本 恵 |
| 秋山成子 | 大島純男 | 川村木綿子 | 佐藤信行 | 田村典子 | 比企敦子 | 森田俊隆 |
| 秋山 仁 | 太田英雄 | 姜 富子 | 佐藤裕子 | 千葉俊一 | 昼間範子 | 森脇栄一 |
| 朝岡勝 | 大森照輝 | 菊池牧夫 | 澤 正幸 | 趙秋子 | 藤田春美 | 門間幸枝 |
| 浅野猷一 | 岡江多寿子 | 北村恵子 | 塩田 希 | 朱 文洪 | 藤守義光 | 門間正輝 |
| 李 元重 | 岡田幸助 | 草地大作 | 實藤恵利子 | 辻 幸宏 | 古澤恵依子 | 山岸素子 |
| 李圭哲 | 岡田 仁 | 小泉 基 | 島しづ子 | 寺嶋 章 | 古澤秀利 | 山口雄司 |
| 李 根秀 | 岡村直子 | 小糸健介 | 島田百合子 | 鳥巢雄樹 | 古屋敷一葉 | 山下和実 |
| 飯高京子 | 岡本拓也 | 後藤 聡 | 清水靖子 | 内藤新吾 | 星出卓也 | 山村恵美子 |
| 飯塚拓也 | 小沢京子 | 後藤正敏 | 申 容燮 | 中井 淳 | 細淵則子 | 山本光一 |
| 石川治子 | 小畑太作 | 小林 晃 | 須賀義和 | 中野智子 | 黄 南徳 | 弓場美香 |
| 石渡能子 | 笠原義久 | 小林 明 | 鈴木澄江 | 松永 武 | 前島 恵 | 弓矢健児 |
| 井田 泉 | 片山洋子 | 小林 聡 | 鈴木まり | 西 千津 | 牧山員子 | 吉澤和海 |
| 伊藤めぐみ | 金子由佳 | 小林 聖 | 鈴木伶子 | 西岡まゆみ | 松永道子 | 吉田瑠都 |
| 井上 豊 | 鎌田論珠 | 齊木登茂子 | 須田 誠 | 西崎敦子 | 松本ルカ | 吉高 叶 |
| 今給黎眞弓 | 川浦弥生 | 坂下道朗 | 外谷悦夫 | 濱中康子 | 水野隆一 | 米本裕見子 |
| 岩橋常久 | 川上純平 | 坂田 恵 | 平良仁志 | 濱野道雄 | 峯田敏幸 | 老田 信 |
| 上田晋一 | 河内理恵 | 貞方賜枝 | 高橋真人 | 原田光雄 | 宮川喜代子 | 渡辺多嘉子 |